

知事と語ろう！とちぎ元気フォーラム in石橋高校 開催結果

1	日時	令和5(2023)年8月7日(月) 午後1時30分～3時08分
2	場所	石橋高等学校 2階 普通教室B
3	出席者	参加者49名(男性30名、女性19名) 県側出席者：知事、教育長、高校教育課長、政策調整監
4	発言数	11件



主な発言事項

No.	発言事項	関係部局
1	知事自身のお考えについて(知事の学生時代について)	—
2	LRTについて	県土整備部
3	学校の休業日について	教育委員会事務局
4	少子化対策について	生活文化スポーツ部、保健福祉部
5	県の政策について	総合政策部
6	県立高校の整備について	教育委員会事務局
7	石橋高校生に期待することについて	教育委員会事務局
8	県の産業振興について	産業労働観光部
9	スポーツ、文化活動について	生活文化スポーツ部
10	公立大学の創設について	総合政策部
11	SDGsについて	総合政策部

No.	発言事項	発言者	発言要旨	県回答要旨	関係課名
3	学校の休業日について	1年生	<p>今年は栃木県誕生150年ということで、県民の日記念イベントがたくさん実施されたと聞いています。</p> <p>栃木県にとって県民の日は祝日だと思うのですが、なぜ学校が休みにならないのか教えていただきたいです。</p>	<p>回答者：知事</p> <p>「県民の日」などを制定していて、当日に学校が休業になっているのは7都県（茨城、群馬、埼玉、千葉、東京、山梨、愛知）であり、今年から祝日になった愛知県は、休み方改革として、企業等と連携して休むようにしているようである。</p> <p>県内の各学校においては、「県民の日」に合わせて全校集会や学校行事、授業の中で、県の成り立ちやふるさとの歴史、文化、偉人等について学ぶなど学校や地域の実態に応じた取組を行っていると聞いている。児童生徒がこうした学校での行事などに一緒に参加し、栃木県について学ぶことで、ふるさとへの愛着を育み、ふるさとに誇りを持てる大人になってほしいと考えている。</p> <p>今後も児童生徒の皆さんに、「県民の日」の意義というものを、理解してもらえるように努めていきたい。</p> <p>回答者：教育長</p> <p>愛知県のように企業と連携し、働き方、休み方とセットで考えていかなければと考えている。</p> <p>本県の場合は、県民の日の記念イベントは、一定期間の幅を取ってできる限り県民の日の前後の土日に行うようにしているため、参加は可能かと思う。さらに本県を知るとということで、積極的に県民の日を捉えていただければありがたい。</p>	<p>教育委員会事務局 教育政策課 (政策企画担当) TEL3360</p>
4	少子化対策について	1年生	<p>以前から少子化が問題となっていますが、婚姻率、出生率の低下をいとめるために、栃木県としてどのような対策をしているのでしょうか。</p>	<p>回答者：知事</p> <p>少子化対策は待たなしの重要課題である。昭和48年頃の第二次ベビーブームと比べると、県内の年間出生数は約3万人から、現在は約1万人と三分の一以下の出生数となっている。</p> <p>また、本県の年間の死亡者数は約2万5千人、2,060年には本県の人口は約130万人に減少する見込みであり、人口を150万人以上にとどめるため、本県は「とちぎ創生15戦略」を掲げ、結婚支援や少子化対策に努めているところである。</p> <p>昨年、国の調査では、本県の合計特殊出生率は全国36位となるなど、喫緊の課題となっている。</p> <p>本県の具体的な取組としては、平成29(2017)年1月に開所したとちぎ結婚支援センターにおいて、会員登録制のマッチングシステムによるパートナー探しを実施しているほか、昨年「ふたりの未来応援アンバサダー」に任命した森三中の大島美幸さんに活躍いただき、若い世代との座談会の開催やSNS等により、結婚や婚活に対するポジティブイメージの発信を行ってらっている。</p> <p>また、「とちぎ結婚支援コンシェルジュ」を今年の5月に宇都宮のセンターに配置し、企業等との連携を図り、婚活イベント等の催し物を行うこととしている。</p> <p>妊娠・出産・子育て支援については、とちぎの子ども・子育て条例に基づく基本計画「とちぎ子ども・子育て支援プラン」に基づき、妊産婦や子どもの医療費助成、保育施設等の整備や保育料の助成など、県民が安心して子供を産み育てることができるよう、県を挙げて子ども・子育て支援に取り組んでいるところである。</p> <p>各ライフステージにおいて、切れ目なく支援を積極的に行うことで、婚姻率、合計特殊出生率の改善・人口減少問題の克服につながるよう、引き続き取り組みを強化して参りたい。</p>	<p>生活文化スポーツ部 県民協働推進課 (青少年応援担当) TEL3075</p> <p>保健福祉部 こども政策課 (子育て環境づくり推進担当) TEL 3068</p>

No.	発言事項	発言者	発言要旨	県回答要旨	関係課名
5	県の政策について	1年生	栃木県として、力を入れている政策はどのようなものがありますか。	<p>回答者：知事</p> <p>本県では県政の基本方針として策定した「とちぎ未来創造プラン」に示した本県の将来像「人が育ち、地域が活きる未来に誇れる元気な”とちぎ”」の実現に向け、5つの重点戦略の下、とちぎの未来を担う人材育成や、県民の健康づくり、災害から県民の命や財産を守るための防災減災対策など18のプロジェクトを推進している。</p> <p>現在、人口減少・少子化が大きな課題となっているが、こうした状況を変えていくためには、若者が将来に夢を描き、様々な働き方を実現するとともに、結婚の希望をかなえ、安心して妊娠・出産・子育てができる魅力ある地域づくりに取り組むことが本県の重要課題となっている。</p> <p>昨年開催された「いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会」をきっかけとし、スポーツを活用した地域の活性化に取り組むとともに、デジタルトランスフォーメーションや温室効果ガスの排出実質ゼロを目指すカーボンニュートラルの実現に向けた取組を積極的に進めているところであり、このような取組から、本県が全国や世界からも注目される栃木づくりを行って参りたい。</p>	総合政策部 総合政策課 (地方創生・政策企画担当) TEL2207
6	県立高校の整備について	2年生	県立高校の設備が老朽化していることを受けて、改築等の計画があるか教えていただきたいです。	<p>回答者：知事</p> <p>県立高校は昭和40年代から50年代にかけて整備され、建築後30年以上経過した施設が多くを占めており、老朽化が進んでいる。</p> <p>そのため県教育委員会は、建物・設備を長く使っていくために、「県立学校施設長寿命化保全計画」を策定して、劣化状況を把握しながら、適切な時期での改修工事を実施している。石橋高校においても、教室棟の屋上防水及び外壁改修工事やトイレの洋式化・エアコンの更新といった工事を実施しているところである。</p> <p>回答者：教育長</p> <p>県教育委員会は、施設の整備・改修に優先順位を付けて取り組んでいきたいと考える。</p> <p>建物全体を新しくすることは難しいため、エアコンの整備、トイレの洋式化等のハード部分の整備を優先して進めており、現在の建物の長寿命化を限られた予算の中で取り組んでいるところである。</p> <p>また、現在、子どもの出生数が減少していることから、高校の合併等を提案させていただいているが、今後、高校がどのような形で残っていくのかを見据えて整備していかなければならないと考える。</p>	教育委員会事務局 施設課 (施設担当) TEL3372
7	石橋高校生に期待することについて	2年生	石橋高校は令和6年度に創立100周年を迎えますが、本校の印象を教えてください。 また、これからの石橋高校生に期待することはありますか。	<p>回答者：知事</p> <p>石橋高校は、「知・徳・体」の調和のとれた心豊かな人材の育成を図っている学校である。</p> <p>生徒の皆さんは、学習面だけでなく、部活動、学校行事等も積極的に取り組んでおり、このような教育活動が評価され、記念選抜高等学校野球大会21世紀枠選出につながったと思う。</p> <p>皆さんがこれから活躍していく社会は、A Iなどの情報技術の日々の進化に代表されるように予測困難な社会となっていくと考えられる。そのような社会の中で生き抜くためには、生涯にわたって学ぶ姿勢を身につける必要があると思う。</p> <p>自分が夢中になれることを見つけ、寝食を忘れて打ち込むことを皆さんに期待したい。</p> <p>また、皆さん自身がリーダーシップを発揮して、多様な人々と協働しながら、様々な地域の課題等を解決する担い手として活躍してほしい。</p> <p>済生会宇都宮病院の医師であった向井千秋さんが宇宙飛行士となった例のように、「やりたいこと」と「できること」が一致すると「天職」に近づくのだと思う。</p> <p>皆さんには、自分が取り組んでいることについて、それが本当にやりたいことなのかを反芻しながら、悔いのない人生を送っていただきたい。</p>	教育委員会事務局 高校教育課 (指導担当) TEL3382

No.	発言事項	発言者	発言要旨	県回答要旨	関係課名
8	県の産業振興について	1年生	<p>石橋高校では県外への大学進学者が多いのですが、卒業後に栃木県に戻りたいと考える人材を増やすには、県内の企業が充実している必要があると思います。</p> <p>魅力ある企業の充実について、栃木県としてどのように考えているか教えてください。</p>	<p>回答者：知事</p> <p>本県は農林業から工業に至るまで幅広い産業の広がりが見られるが、特に製造業が中心となっており、県内総生産額に占める製造業比率は滋賀県に次いで全国二位である。</p> <p>多様な業種がバランス良く集積し、多数の優良企業が立地する全国有数のものづくり県であり、中でも、自動車産業、航空宇宙産業、医療福祉機器産業を「戦略3産業」と位置づけ重点的に支援するとともに、AI・IoT・ロボット技術、光学技術、環境・新素材技術を「未来3技術」として振興を図っている。</p> <p>また、コロナ禍を経て急速に進んだデジタル化への対応として、県内企業のAI等の導入や利活用を促進するための支援拠点である「とちぎビジネスAIセンター」を中心に、県内企業のデジタル化の取組を積極的に支援している。</p> <p>さらには、若者や女性など多様な人材が働きやすい職場環境の整備や、UIターン等による本県企業への就職者の増加に向けた取組を進めるとともに、女性に魅力ある雇用・産業の創出に向けた事業戦略を策定し、特に若年女性の東京圏への転出超過の抑制や本県産業の更なる振興へとつながる施策の方向性を打ち出していくこととしている。</p> <p>加えて、本県は地震や台風などの自然災害のリスクが比較的小さいことや、東京からのアクセスの良さなど本県の優れた立地環境を企業にアピールし、企業誘致にも積極的に取り組んでいる。</p> <p>令和3年に下野市に本社を移転したデクセリアルズ株式会社は、反射防止フィルム、異方性導電膜、光学弾性樹脂等を製造しており、3製品ともに世界シェア1位となっている。</p> <p>他にも、歯科用ハンドピースを製造する鹿沼市の株式会社ナカニシ、眼科ナイフ等を製造する宇都宮市のマニー株式会社、包あん機を製造する宇都宮市のレオン自動機株式会社、ロボットを製造する壬生町のファンック株式会社等 世界シェアの高い県内企業は多くある。</p> <p>下野市に造成中のしもつけ産業団地は、第一期予約分譲の受付が終了したところであり、令和7年度上半期の土地の引渡しを予定している。引き続き企業誘致に取り組みながら産業の振興を図り、女性が活躍できる雇用の場の確保にも努めていく。</p>	<p>産業労働観光部 産業政策課 (企画調整担当) TEL3168</p>

No.	発言事項	発言者	発言要旨	県回答要旨	関係課名
9	スポーツ、文化活動について	2年生	<p>昨年「いちご一会とちぎ国体」が栃木県で開催され、県民をはじめ多くの人に感動をもたらしました。</p> <p>国体開催後は、栃木県のスポーツをどのように充実させていくのでしょうか。</p> <p>また、スポーツだけでなく文化活動の充実についても教えてください。</p>	<p>回答者：知事</p> <p>市町や県内プロスポーツチーム、民間企業、観光団体等とともに7月31日に設立した「栃木県スポーツコミッション」が主体となって、歴史、文化や食などの地域資源とスポーツを組み合わせた観光を楽しむスポーツツーリズムを推進していく。</p> <p>具体的には、東京圏からのアクセスの良さ、充実したスポーツ施設、多くの競技にわたるプロスポーツチームなど、本県の強みを生かし、観光分野等との連携も強化しながら、国際大会も含めたスポーツ大会、イベント、合宿等の誘致に取り組んでいく。</p> <p>現在、北海道でインターハイが開催されているが、飛込競技については日環アリーナ栃木を使用しており、屋内水泳場の飛込プールはナショナルトレーニングセンターの競技別拠点施設に指定されている。同施設は優れた建築を表彰する「ベルサイユ賞」を2022年に受賞し、カンセキスタジアムについてもテレビで取り上げられる等日本を代表する施設であり、誇りであると思う。</p> <p>また、第1回ポニーガールズベースボールワールドシリーズが小山市で開催されるなど、国体開催後も世界的な大会が開催されている。</p> <p>とちぎ国体で高まった競技力の確保に向け、とちぎスポーツ医科学センターを活用したアスリート支援や指導者養成などに取り組むほか、市町で行われた競技が、マイタウンスポーツとして大会後も地域に定着するよう支援していく。</p> <p>昭和55(1980)年に開催された栃の葉国体後、日光市(旧今市市)がフィールドホッケーの聖地となったが、今回のいちご一会とちぎ国体でも、フェンシングなら上三川町となるように聖地を増やしていきたい。</p> <p>文化活動については、令和3年度からスタートした栃木県文化振興基本計画(第2期)において、「とちぎの文化を担う人づくり」「文化に親しむ環境づくり」「文化を生かした地域づくり」の3つを柱に取り組んでいる。</p> <p>「人づくり」については文化、芸術活動等を行う個人、団体に対し、文化振興基金を活用した活動助成を行うほか、本県ゆかりのアーティスト情報を網羅した専用Webサイト「とちぎアーティストバンク」を開設して情報発信やマッチングを行うことにより、活動をサポートしている。</p> <p>「環境づくり」については、県立美術館や県総合文化センター等の中核的文化施設において、文化芸術に触れる機会を提供するほか、栃木県文化協会と共に県芸術祭を開催し、県民に発表の場を提供している。</p> <p>「地域づくり」については、文化資源のデジタル化による文化観光の推進に向け、令和4年度に国から認定を受けた「栃木県立博物館文化観光拠点計画」に基づき、文化財や美術作品のデジタル化を進めるとともに、本年3月に公開した「とちぎデジタルミュージアム」を通じて本県を代表する文化資源を県内外に発信することで、本県への誘客も促進していく。</p> <p>また、総合文化センターにおいて、本県出身者による新人音楽家演奏会を開催するほか、平成8(1996)年からコンセール・マロニエ21(新進音楽家コンクール)を行い、コンクール入賞者によるコンサートも開催している。</p> <p>こうした様々な取組を通じて、県民の文化活動の更なる充実を図っていく。</p> <p>回答者：教育長</p> <p>栃木県はゴルフ場等の数が全国有数であり、スポーツ環境に恵まれていると思う。</p> <p>スポーツは健康、観光等につながるため、スポーツ振興について県をあげて取り組んでいく。</p>	<p>生活文化スポーツ部 スポーツ振興課 (スポーツ企画担当) TEL 3576</p> <p>文化振興課 (文化芸術担当) TEL2153</p>

No.	発言事項	発言者	発言要旨	県回答要旨	関係課名
10	公立大学の創設について	2年生	<p>高校卒業後、栃木県内に進学したいと考えています。</p> <p>群馬県や茨城県には県立大学がありますが、栃木県にはありません。</p> <p>栃木県で公立大学を創設する予定はないのでしょうか。</p>	<p>回答者：知事</p> <p>北関東各県の四年生大学数は茨城県が11、群馬県が15である。</p> <p>栃木県内の四年制大学は国立大学1校、私立大学9校、合わせて10校が設置されており、都道府県別の学校数では全国24番目と中位に位置する。</p> <p>学部も、教育学部、法学部、工学部、農学部、医学部、薬学部、看護学部など、幅広く19学部が設置され、来年4月には宇都宮大学に「データサイエンス経営学部」が新たに開設予定であるなど、進学に当たっての選択肢が少ないとまでは言えないと思う。</p> <p>一方で、県内の大学や短大への進学者割合は27.8%と低く、若者の東京圏への人口流出が課題となっている。</p> <p>そのため、県は、県内の高等教育機関で構成する「大学コンソーシアムとちぎ」と連携し、若者の地元定着の促進をはじめ、グローバル人材の育成等、様々な事業を実施している。今後とも、「大学コンソーシアムとちぎ」と連携し、受験生から選ばれる大学となるよう、県内大学等の更なる魅力向上を図り、県内大学等への進学率の上昇を目指していく。</p> <p>回答者：教育長</p> <p>群馬県は公立大学が多く、茨城県、埼玉県は医療系の県立大学があるが、県内大学にも様々な学部がある。</p> <p>栃木県の県内大学や短大への進学者割合は27.8%であり、全体の70%以上が県外に出ており、特に首都圏へ進学するというのが大きな流れになっている。</p> <p>私個人としても東京の大学に進学し、一度栃木県を離れたことで、新たな視点で地元を見ることができた。</p> <p>最近では経営が行き詰まった私立大学を、新しい公立大学に変えていくような動きも全国的には出ている中で、県として県立大学をどうするかというのは大きな課題である。</p> <p>卒業後の就職先をしっかりと確保することも大切であるため、就職先の確保とセットで考えることも重要だと思う。</p>	<p>総合政策部 総合政策課 (政策調整・地方分権担当) TEL：3497</p>
11	SDGsについて	2年生	<p>今、世界全体でSDGsに取り組んでいますが、SDGsの達成に向け、栃木県として最も重要視していることは何ですか。</p> <p>また、これから取り組んでいきたいことがあれば教えてください。</p>	<p>回答者：知事</p> <p>SDGsは、2015年に国連が定めた、経済、社会、環境に関する世界共通の17の目標であり、2030年が達成年限とされている。</p> <p>その17番目の目標として「パートナーシップの活性化」が掲げられているとおり、目標の達成のためには、行政をはじめ、県民、企業、NPO等、あらゆる主体がSDGsの理念・目標を共有するとともに、連携・協働しながら取組を進めていくことが重要である。</p> <p>このため、県では、これまで、フォーラムや小学生向け講座などによる普及啓発を行うほか、プラスチックごみ対策の一層の強化に向けた全国初となる県と全25市町による「栃木からの森里川湖(もりさとかわうみ)プラごみゼロ宣言」の発出、宇都宮大学との連携協定の締結、SDGs推進企業の登録制度の創設など、SDGsの取組を進めてきた。</p> <p>また、県が行う仕事の進め方等を示す栃木県重点戦略「とちぎ未来創造プラン」では、「SDGs」の視点を取り入れ、プランに掲げる18のプロジェクトを積極的に推進しているところである。</p> <p>引き続き、県民や企業等への普及啓発を図りながら、地域社会の多様な主体とともにプランに掲げた各種施策を積極的に推進し、SDGsの達成に向け、取り組んで参る。</p>	<p>総合政策部 総合政策課 (政策企画・地方創生担当) TEL2207</p>